

第9話

週刊

タバコの正体

朝夕は少し寒いくらいになりました。これからが紅葉のきれいな、秋本番というところですよ。日本には毎年必ず春夏秋冬が訪れますが、その中でも秋は、多くの農作物が実る収穫の時期で、なんとなく食欲が湧き、食事が楽しみになる季節でもあります。

秋に収穫される代表的な作物の一つに、お米があります。日本人の主食でもある米は、歴史的にも大変重宝されてきた作物で、江戸時代には、米の収穫高でその町の豊かさが表現されていました。例えば「紀州五十五万石(きしゅうごじゅうごまんごく)」という表現は、紀州藩の稲の作付面積が55万石あったという事です。ちなみに、徳川将軍家が400万石、加賀藩(石川)が100万石などに次いで紀州藩は当時、全国で5番目でしたから豊かな町だったのでしょね。

そのお米。皆さんも良く知っているとおりに、5月～6月ごろ田植えが行われ、夏の間、緑の絨毯を敷き詰めたかのように青々と育った稲が、秋には黄金色に輝く稲穂となり稲刈りができるわけです。水と太陽のエネルギーを田んぼで吸収した稲の一生は、ほんの数カ月で終わります。

ところで唐突ですが、私たちの一生は何年でしょうか。厚生労働省によると昨年の平均寿命は、女性が86歳、男性は80歳だったそうです。人間の一生って相当長いですよ。15～18歳の君たちには、そんな長い一生をイメージすることは出来ないでしょう。

そこで、さきほどの稲の一生に例えてみましょう。80年を4カ月に短縮すると、君たちは田植えから3週目を迎えたあたりです。田んぼの水面に頼りなく細々と生えているその姿は、まるでうぶ毛のような状態のころです。でも、成長著しい時期でもあるので、自然のエネルギーを吸収して日に日に太く大きくなる重要な時期です。君たちの今と同じです。

この重要な成長過程で吸収する栄養分のちょっとした差が、稲穂となる頃には大きな差となります。人間の成長も同じで、人生のなかで“思春期”と特別な呼ばれ方をするこの時期に、学んだ事や経験した事が後の人生に大きく影響します。

だからこそ君たちは今、学校で学んでいるんですよ。

そして、この大切な時期に、明らかに成長の妨げとなるタバコを吸い始めるなんて、とんでもない事で、見事に輝く黄金色の実りをつけるどころか、実りをつけるまで生きる事が出来ないかもしれません。君たちの多くは、『そんな事、わかってるよ』と思ってきているはずですよ。

産業デザイン科 奥田 恭久